

# 医療関係者向け

2023年度

## 多文化対応力

## 向上講座



外国人の患者さんに寄り添う“やさしい日本語”による対応を学ぶ  
—「こころの壁」も「ことばの壁」も低くするために—

参加費  
無料

定員 30名

2023年 7月 22日 (土) 14:00~16:00

(120分)

対象 医療関係者（医師・看護師・助産師・保健師等）、  
医療機関職員、そのほか外国人への診療・対応に従事する方  
※薬剤師向けには別途講座を企画中です。

開催方法 オンライン（zoom） 13:45～zoom開場

講師

堀 成美氏（看護師／コンサルタント（感染対策、外国人医療））

黒田 友子氏（一般社団法人やさしいコミュニケーション協会 代表理事）

外国人住民の生活課題のひとつに医療に関することが挙げられます。迅速な診療を受けられなかったり、受診したときには既に深刻化していたりするケースもあります。外国人住民の増加とともに、言葉の壁や文化・習慣の違いなどに向き合いながら、外国人の患者さんに寄り添う対応力が医療関係者にはいっそう求められています。

そこで、在住外国人住民の背景等を知り、医療現場において外国人患者の受付・案内や問診などの初期対応に役立つ「やさしい日本語」を学びます。ぜひご参加ください。



### 内容

- 外国人の言語的背景、外国人を取り巻く環境
- 医療で用いる“やさしい日本語”概説
- 円滑なコミュニケーションのためのポイント
- 「多言語医療問診票」を使用したワーク
- 書き換えワーク（医療用語／文章変換）
- 診療時を想定したワーク等
- 社会資源、支援ツールの紹介

### 「多言語医療問診票」とは？

日本語を話せない外国人が、病気やけがをしたときに、その症状を母語で医師などに伝えられるように制作されたものです。

多言語医療問診票は、NPO法人国際交流ハーティ港南台と公益財団法人かながわ国際交流財団の協働により運営されています。

<https://kifjp.org/medical/>

### 申込方法

講座申込みページからお申込みください。

- 申込締切 2023年 7月 11日 (水)
- 申込みページ [https://willap.jp/p/acc\\_4614/2023tabunkakouza\\_iryuu/](https://willap.jp/p/acc_4614/2023tabunkakouza_iryuu/)



### 主催・問合せ

(公財) かながわ国際交流財団 多文化共生グループ(担当 原)

TEL 045-620-4466 (平日 8:45~17:30)

E-mail [tabunkajoin@kifjp.org](mailto:tabunkajoin@kifjp.org)

問合せメールに「医療関係者向け 多文化対応力向上講座」と明記してください。



公益財団法人 かながわ国際交流財団  
Kanagawa International Foundation